

～楽しみながら沿線のまちの絆を深めよう！～ 8月31日「米坂線復活絆まつり」いよいよ開催！

令和4年8月の豪雨災害で被災し、今泉駅～坂町駅間が不通となっているJR米坂線。その復旧に向けた機運を醸成するとともに、沿線等市町村の魅力を相互に理解し、今後の連携を深め、交流人口を拡大することを目的とした「米坂線復活絆まつり」が8月31日(土)に開催されます！

まつり当日は、地元アーティストなどのステージイベントや、米坂線沿線等市町村の特産品販売が一堂にそろうきずなマルシェ、キッチンカー、転車台見学ツアー(要予約)など、米坂線とその沿線等市町村の魅力を満喫できるイベントが盛りだくさんです。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください！

楽しみながら沿線のまちの絆を深めよう！

米坂線 絆まつり

よねさかせん

2024
8/31
(土)

11:00～17:00

会場：JR 小国駅前広場

ステージイベント

エフエム山形公開生放送
11:00～11:55
出演 岩崎 香・本田 明子・宇屋 丁葉

スベシヤルゲスト 上野 輝平
第28回日本新打楽器コンクール最優秀賞
1位・毎週末ライブ(山形県立小国高等学校)で活躍し、多くの賞を受賞している。

工藤 純乃 HAWKER9 ローリーナツ ノブオマール-たけみ さくらんぼん Ban リクソンファン楽団 上野 輝平

【日 時】 8月31日(土)11:00～17:00
【会 場】 JR小国駅前広場

まつり詳細はこちら！

米坂線の思い出を教えてください！ ～「わたしたちの米坂線」エピソード募集～

米坂線を利用した旅行や通学の思い出、米坂線がある生活で起こった心温まるできごとなど、米坂線にまつわる思い出エピソードを募集しております。

応募いただいた方の中から、抽選で11名の方に、米坂線復旧の機運醸成に取り組む沿線等11市町村の特産品5千円相当をプレゼント！

【応募期間】 8月13日(火)まで **HP**

【応募方法】 HPの応募フォームまたは郵送

【あて先】 〒992-0012 米沢市金池7-1-50
米坂線復活絆まつり実行委員会事務局 あて
(山形県置賜総合支庁総務課連携支援室内)



■総務課 連携支援室 ☎ 0238-26-6019

目次

トピックス&事業報告	お知らせ&ほけんだより
「米坂線復活絆まつり」いよいよ開催！ …01	廃棄物適正処理・3R推進ポスターの募集 …05
「わたしたちの米坂線」エピソード募集	フードドライブを実施します
地元音楽ユニットが米坂線応援ソングCDを贈呈 …02	夏の省エネ・節電にチャレンジ！
電動モビリティ地域共創コンソーシアム総会・講演会	9/10～9/16は自殺予防週間です …06
夏のおすすめスタンプラリーをご紹介します	結核予防週間について
WAKU WAKU WORK in 米沢七中 …03	9月は健康増進普及月間です
豪雨災害からの復旧と建設技術を学びました	
「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業」研修会 …04	
置賜管内災害復旧事業担当者「模擬査定研修会」	

置賜総合支庁ニュース8月号

発行元：山形県置賜総合支庁/Vol.195

HP

X(旧Twitter)

総合支庁ニュースは
県HPでも公開中！

置賜総合支庁X(旧Twitter)も活動中！

贈呈いただきました／
**地元音楽ユニット「風とたんぽぽ」が
 米坂線応援ソングCDを制作！**

6月25日(火)に地元の音楽ユニット「風とたんぽぽ」が来庁され、制作した米坂線応援ソング「世界へつなげ米坂線」のCDを贈呈いただきました。

この日は、実際にCDを鑑賞するとともに、米坂線復旧に向けた熱い思いなどをお話しいただきました。

この曲は、「風とたんぽぽ」が米坂線早期全面復旧の署名活動をしている高校生がいることを知り、応援ソングとして令和6年1月に制作されたものです。

「風とたんぽぽ」は、8月31日(土)に開催される「米坂線復活まつり」でもこの応援ソングを披露されます。
 ■総務課 連携支援室 ☎ 0238-26-6019



左から「風とたんぽぽ」の武義和さんときむらいずみさん、佐藤置賜支庁長

**自動車運転の未来を考える！
 電動モビリティ地域共創コンソーシアム総会・講演会を開催**

山形県、飯豊町及び電動モビリティシステム専門職大学の3者は、産学官金民が一体となり地域産業の振興と地域活性化に向けて取り組んでいくため、令和5年6月に「電動モビリティ地域共創コンソーシアム」を設立しました。

7月25日(金)に総会・講演会を開催し、一般社団法人日本自動車研究所代表理事・研究所長の鎌田実さんよりご講演いただきました。

「自動車運転の現状と展望」をテーマとした講演では、「自動運転はあくまでもツールであり、地域の課題解決のためにモビリティをどうしていくべきかを明確にすべき」「モビリティに関する様々な取組みがなされているが、多数存在する困難な社会問題のどこに役立つかが明確でないと、実証実験で終わってしまうおそれがある」「国・自治体の財政難、地域住民の要望等の制約がある中、望ましい姿を構築することが重要」といった提言がありました。

コンソーシアムでは、小中高生向けのAIプログラミング学習体験を10月に開催予定です。



EMRC
 電動モビリティ地域共創コンソーシアム

コンソーシアムのロゴが
 決定しました！



■地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0238-26-6043

スマホで簡単！夏のおすすめスタンプラリー
 ～スイーツトリップや道の駅めぐりはいかが？～

観光振興室が事務局を務める山形おきたま観光協議会では、広域周遊観光を目的として他県と連携したスタンプラリーを実施しています。夏のお出かけの際に、スタンプラリーに参加してみませんか。

1 南東北3県周遊イベント「至福のスイーツトリップスタンプラリー」

8月1日(木)から11月30日(土)までの間、山形県置賜地域、宮城県仙南地域、福島県東北地域の「25市町村」を舞台に、地域のフルーツや食材を使用したスイーツを楽しめる企画をご用意しました。観光スポットもラリーの対象箇所になっていますので、併せてお楽しみください。

2 新潟村上いわふね・山形おきたまデジタルスタンプラリー

8月中旬から11月30日(土)までの間、置賜地域、新潟県村上・岩船地域の道の駅等を巡るデジタルスタンプラリーを開催します。

スタンプを集めて応募すると抽選で各地域の特産品が当たります。

夏の海や秋の紅葉等、見どころいっぱいの両地域へぜひお出かけください！

■地域産業経済課 観光振興室 ☎ 0238-26-6046

Yamagata Miyagi Fukushima
 スマホでカンタン！
 至福の
 スイーツトリップ
 スタンプラリー
 2024. 8.1(木) ~ 11.30(土)
 宮城・山形・福島のスイーツ店と観光スポットを巡りスタンプを集め、豪華賞品を当てよう！
 HPIはこちら！

中学生が地元企業の仕事を体験 -WAKU WAKU WORK in 米沢七中-

地元企業が学校に出向き、生徒たちに職業体験プログラムを体験してもらう「WAKU WAKU WORK in 米沢七中」を6月21日(金)に米沢市立第七中学校の2年生69名を対象に開催しました。地元で活躍する大人から地元企業や働くことの魅力を伝えることにより、将来の就職先として「地元」を意識してもらうとともに、若者の地元定着・地元回帰を図ることを目的として実施しています。米沢七中での開催は今回で3回目であり、大変好評をいただいています。

置賜管内の製造、建設、福祉など、様々な業種の14事業所がブースを設置し、生徒は1ブース40分間のプログラムを2ブース選んで体験しました。

参加生徒は、企業が趣向を凝らしたプログラムにメモを取ったり、積極的に質問したりするなど意欲的に取り組んでいました。そんな生徒の姿に企業の方も大変感心している様子でした。このほか、今年度は高畠中学校(昨年度に引き続き2回目)と白鷹中学校(西置賜地区で初)での開催を予定しています。

■地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0238-26-6043



網戸の張替え体験



生花デザイン体験

高校生が建設業の重要性を現場で学ぶ！～建設工事現場見学会～



建設業界の将来を担う若手技術者の就業促進と地元定着を目的として毎年開催している、県立米沢工業高等学校の1年生を対象とした(一社)山形県建設業協会米沢支部主催の「建設工事現場見学会」が6月21日(金)に開催され、53名が参加しました(置賜総合支庁共催)。

当日は置賜地域4箇所の工事現場などを見学し、建設業の重要性や実際の仕事内容、活用している技術などを学びました。

県が行う工事では、令和4年8月に被災した米沢市入田沢の国道121号や飯豊町小白川の大巻橋の復旧現場を見学し、被災した施設や工事中の構造物を間近で見て、その迫りに驚きの声があがりました。

また、大巻橋では、ドローン測量を活用して作成した現場の完成予想図をVR(バーチャルリアリティ)で体験するなど、建設業における最新技術に触れ、実りある見学会となりました。

今後も同様の見学会を開き、建設業の魅力を発信していきます。

■建設総務課 技術調整担当 ☎ 0238-26-6099

ストップ農作物被害!

鳥獣被害対策は地域ぐるみで!

県では、イノシシやクマ等による農作物被害防止を目的に、地域を挙げて総合的な鳥獣被害対策に取り組む「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業」を実施しています。

6月21日(金)に、今年度のモデル地区の一つ「白鷹町小山沢地区」において、地区住民や関係者約30名が参加し、第1回研修会を開催しました。

株式会社地域環境計画の小野晋さんをアドバイザーとしてお招きし、イノシシの生態等について講義を受けた後、集落内を歩きながら、鳥獣被害が頻出する箇所の点検や対策の検討を行いました。

参加者からは「見通しをよくする草刈りが有効であることがわかった」「次回も参加したい」等の声が聞かれました。第2回研修会は、10月頃に開催する予定です。



■農業振興課 地域農政担当 ☎ 0238-26-6049



◀地図を見ながら頻出箇所について学習。

▶集落点検。山林の入口付近の草を刈っておくと、イノシシ等の隠れ場所がなくなり、被害を受けにくくなる。



今後起こりうる災害に備えて! 置賜管内災害復旧事業担当者「模擬査定研修会」を開催



模擬査定時の写真



令和4年に被災し、復旧が完了した長堀排水路

令和4年8月の豪雨は、川西町や飯豊町を中心に置賜地域の農地・農業用施設に甚大な被害をもたらしましたが、早期の営農再開に向けて関係機関が一丸となって復旧に努めてきました。

全国的にも自然災害が頻発している状況を踏まえ、今後起こりうる災害に備えるため、災害復旧事業の迅速かつ円滑な執行に向けた研修会を6月27日(木)に開催しました。

研修会には、県・市町・土地改良区の担当者約40名が参加し、災害復旧事業の国への申請における留意点や、災害査定のやり取りと流れを模擬的に再現し、実際の手順を確認するなど、担当者が実践的な対応方法を学び、災害発生時における早期の復旧に向けたスキル習得に取り組みました。

災害査定とは

農地・農業用施設の復旧事業の申請を受けた国が、現地において被害の程度を確認、技術的に妥当な工法であるかの確認を行い、適正であるかを査定するもの

■農村計画課 地域保全班 ☎ 0238-35-9055

廃棄物適正処理・3R推進ポスターを募集します！

環境課が事務局を務める置賜地区不法投棄防止対策協議会では、廃棄物の適正処理と3Rに理解と関心を深めてもらうため、置賜地域の小学4年生から中学3年生を対象としたポスターコンクールの作品を募集しています。

優秀作品は、賞品を贈呈のうえ、不法投棄防止啓発のためのグッズや看板のデザインとして活用します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。

9月6日(金)まで作品を募集していますので、奮ってご応募ください。

3R(スリーアール)とは？

Reduce(リデュース)：「ごみになるものを減らす」

Reuse(リユース)：「繰り返し使う」

Recycle(リサイクル)：「資源の再利用」

の3つの「R」の総称のこと。

詳細はこちら



■環境課 廃棄物対策担当 ☎ 0238-26-6034

令和5年度最優秀賞

小学生の部
「ゴミは「箱」へ」
飯豊町立添川小学校
5年 横澤堯彦さん

中学生の部
「3Rで地球を守ろう」
南陽市立宮内中学校
3年 殿岡櫻子さん

3R▶ Reduce, Reuse, Recycle
やめよう、ごみのポイ捨て



ご家庭で余りものありませんか？ ～フードドライブを実施します～

まだ食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)の量は年間約472万トンあり、国民一人あたり毎日おにぎり約1個分(103g)の食品を捨てていることとなります(令和6年6月、農林水産省報道発表資料)。

ご家庭で食べる予定がない未開封のレトルト食品やお菓子、調味料などで、1か月以上賞味期限が残っているものがありましたら、ぜひご提供ください。

集まった食品は、関係団体を通じて、食の支援を必要としている方に提供します。

【日時,場所】 8月27日(火) 置賜総合支庁本庁舎
8月28日(水) 西置賜地域振興局

【対象】 食品、生活消耗品

フードドライブとは

家庭で使う予定のない食品を集めて、フードバンク(支援を必要としている方に食品を提供する団体)等に提供する活動

■環境課 廃棄物対策担当 ☎ 0238-26-6034

夏の省エネ・節電にチャレンジ！



山形県では、「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言しています。これは、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すものです。

夏は冷房器具の使用などにより、エネルギー消費量が増える時期です。毎日の生活の中で、ご自身の体調やライフスタイルに合わせて、冷房時の室温は28℃を目安に設定する、テレビを見ない時や不要な照明はこまめに消すなど、家庭での節電の取組みを始めてみませんか。

他にも、利用する機会が多い宅配便は、受け取る時間帯や場所の指定を活用して、できるだけ1回で、まとめて受け取るようにするなど、今回ご紹介した例に限らず、無理なくできそうな省エネ・節電の取組みを継続して行っていきましょう。



■環境課
☎ 0238-26-6035

9月10日から16日は「自殺予防週間」です

置賜地域で令和4年に自殺で亡くなられた方は44人です。自殺の原因はひとつではなく、経済・生活・健康・家庭等の問題が複雑に絡み合っています。

自殺に至る直前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を発症していると言われ、病気により正しい判断ができない状態になっています。自殺予防のためには、“眠れない”、“憂うつだ”、“好きなことが楽しめない”など、心の不調のサインに早い段階で気づく必要があります。

置賜保健所では、保健師の他に精神科医師による相談も行っています。ひとりで悩まず、まずご相談ください。



いのち
支える

【ご相談・問合せ先】

置賜保健所 地域保健福祉課

精神保健福祉担当

☎ 0238-22-3015

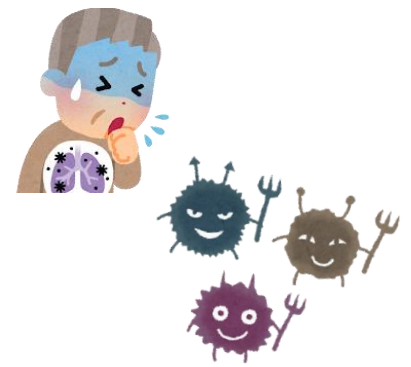
「こころの健康について
(置賜保健所)」HP



「結核」は昔の病気ではありません！ ～結核予防週間～

結核とは、結核菌が体の中に入ることによって主に肺に炎症を起こす病気です。昔の病気というイメージがあるかもしれませんが、今でも全国で年間10,000人以上の患者が発生しています。結核はかつて不治の病といわれていましたが、現在は毎日きちんと薬を飲み続ければ治る病気になりました。

厚生労働省は毎年9月24日から30日を「結核予防週間」と定め、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。まん延防止には早期発見が重要です。自覚症状がなくても年に1度は健康診断(胸部X線撮影)を必ず受けましょう。また、せきやたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



■保健企画課 感染症対策担当 ☎ 0238-22-3002

9月は健康増進普及月間です 自身の健康を振り返ってみませんか

令和4年県民健康・栄養調査によると、山形県民は食塩摂取目標値より多く塩分を摂取し、野菜摂取量は1日の目標値の350gより約60g不足している状況です。

肥満や生活習慣病などを予防し、健康な生活を維持するために、減塩＋野菜摂取量増を目標に日々の食事を一度振り返ってみませんか。

塩の摂取を減らし、野菜料理をあと一皿追加することで健康な食事に一步近づけます。食事以外にも、運動習慣の定着や、禁煙チャレンジなど、自身でできそうなことに取り組んでみましょう。健康づくりは1日にして成らず。意識的に行動し、継続して取り組むことが健康づくりの秘訣です。



■保健企画課 健康長寿推進担当 ☎ 0238-22-3004

担当者のひとことコーナー

各地で夏祭りや花火大会が開催される季節になりましたね。私は学生時代に踊り手として花笠まつりに参加していたので、今でもお祭りの時期になるとワクワクそわそわした気持ちになります。8月は置賜地域でもたくさんのお祭りが開催されます！ぜひ各所に足を運んでいただき、置賜の夏をお楽しみください。ちなみに今月号特集の「米坂線復活絆まつり」は8月31日に開催です！

置賜総合支庁総務企画部総務課企画調整担当

住所:米沢市金池7丁目1-50

TEL:0238-26-6100 FAX:0238-24-1402

